

第45回 入学式 式辞

春のやわらかな陽光に包まれ、本日ここに、本校同窓会、後援会、PTAご来賓の皆様のご臨席を賜り、第45回入学式を挙行することができますことは大きな慶びであります。

高いところからではございますが、ご来賓の皆様方に厚く御礼申し上げます。

ただいま、入学を許可された新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。

在校生、教職員一同、皆さんの入学を心からお待ちしておりました。

また、保護者の皆様には、お子様が、本校に入学されましたことを心からお喜び申し上げます。

新入生の皆さん、いよいよ今日から長尾高校生としての生活が始まります。

高校生活は長い人生の中では、ほんのわずかな期間かもしれませんが、皆さんが心身ともに大きく成長していく重要な時期であり、将来の進路決定において大切な意味を持つ3年間です。

これからの高校生活の出発に当たり、私は二つのことを新入生の皆さんに実践・実現してほしいと願っています。

一つは、「学力を磨く」ということです。

学校は、第一に学習する場です。

特に、授業は学校生活の大部分を占める、最も基本となるものです。

まずは授業を大切にしてください。

本校の先生方は、授業に全力を傾けて教材を準備し、充実した内容にするよう授業に臨みます。

皆さんにも、授業に向けての準備を万全に整え、そして、先生方の思いが込められた授業から、学び取ろうとする意欲を持って授業に臨んでほしいと思います。

授業というものは、一方通行になっては高い効果は生まれません。「教える者」と「学ぼうとする者」とが一緒になって、一体となって創り上げていくものです。

先生方の説明を皆さんが集中して聞き、考える。先生の質問や呼びかけに、皆さんが応える。こうしたやり取りを通じて、理解や気づきが生まれるのだと思っています。

ですから、皆さんには、自ら学ぼうとする姿勢、「心構え」というべきものが求められます。皆さんが真剣に物事に取り組むとき、たとえば部活動で大事な試合前などに、「さあ、今からやるぞ」という思いをもって臨むと思います。

こうした思い、「心構え」をもって授業に臨んでほしいと思います。

2つ目は、「心を磨く」ということです。

私は、外部の方からおほめの言葉をいただくことがあります。

一番多いのは「挨拶」についてです。昨年も来校された大学関係や業者の方々、地域の方々から「長尾高校の生徒さんは挨拶がしっかりとできて、本当に気持ちがよい」とおほめの言葉をいただきました。

他にも、つい先日のことですが、近隣の自治会長さんがお礼にと学校に来られました。近隣住民の方が苦しんでうずくまっておられたところ、気づいた本校生徒が自ら声を掛け、救急車を呼び、搬送されるまで心配して付き添っていたとのことでした。

こうしたことは一例ですが、清々しい、思いやりに満ちた心掛けの表れ、まさしく心の磨かれた姿だと感じています。

本校は、「誠実、明朗で友愛と気力に満ちた人物」「地域に貢献できる人物」の育成をめざしています。

挨拶、清掃、時間を守る、人の気持ちがわかる・・・

そういった真心と前向きに努力するひたむきさをもって行動できる、そのような人になるよう、心を磨いてください。また、そうした誠実さや思いやりを恥ずかしがることなく、存分に発揮してください。

これから3年間、授業や学校行事、クラブ活動に、没頭して取り組んで欲しいと思います。そして、友とのふれあい、先生方や地域の方々との語らいを通して、多くのことを学んでください。

そうした努力を通して、「熱中した」「やり遂げた」と言えることを一つ一つ増やすことで、自信をどんどん蓄えてください。

これらの学びや自信が、あなた方をより一層大きく成長させてくれるものと私は確信しています。

保護者の皆様方、改めましてお子様のご入学、誠におめでとうございます。

私たち教職員一同、お子様一人ひとりが、三年間で多くのことを学び、そして、心を磨くことができるよう、全力を尽くして教育に取り組む覚悟でございます。

保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対するご理解を賜り、積極的なご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんの限りない成長を祈念しまして、私からの式辞といたします。

平成 29 年 4 月 10 日

大阪府立長尾高等学校長 寶田 康彦